

# 【ご案内】三井住友信託銀行のステュワードシップ活動体制について

弊社は、日本版ステュワードシップ・コードの受入れ表明機関としてステュワードシップ責任を果たすため、エンゲージメント、議決権行使、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関する諸活動等、各種ステュワードシップ活動を実践しております。

## ステュワードシップ活動の柱

### エンゲージメント

弊社は、「企業の持続的成長」を促すため、企業との「建設的な対話」、いわゆるエンゲージメントを通じて意見表明を行います

### 議決権行使

弊社は、議決権行使を「企業に対してガバナンスの在り方を伝える手段」として位置付け、適切に行使を行います  
 なお、弊社の議決権行使判断時の数値基準、定性判断のポイント等につきまして、弊社HP上にて公表しております(「責任ある機関投資家としての議決権行使(国内株式)の考え方」)

### 投資判断

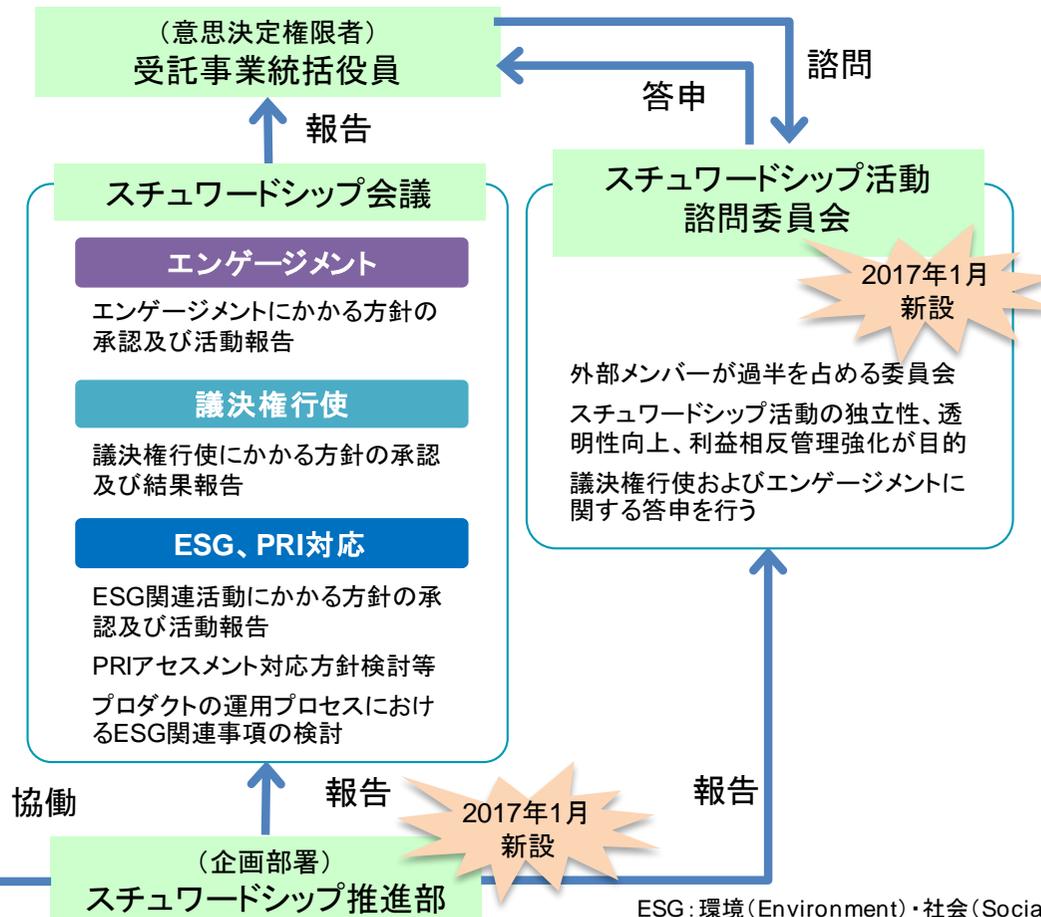
弊社は、お客さまのご資金を運用する際の投資判断に当たり、企業の「財務情報」と「非財務情報」(ESG情報)を活用します。非財務情報を活用した投資判断を一般に「ESGインテグレーション」と呼びます

### ESGファクター

リサーチ運用部のアナリスト等  
 (エンゲージメント・行使実務部署)

運用各部署  
 マネージャー

## ステュワードシップ活動の推進体制



⇒弊社の議決権行使結果等のステュワードシップ活動の詳細に関しましては、弊社HPに掲載しております。

( 弊社HP : <http://www.smtb.jp/business/instrument/voting/> )

ESG: 環境(Environment)・社会(Social)  
 ・ガバナンス(Governance)  
 PRI: 国連責任投資原則

2017年3月末時点